2013 年 関東大震災から 90 周年
虐殺された中国人労働者を追悼する集い

2013 年 9 月 8 日、関東大震災から 90 年目にして、中国から初めて来日する温州のご遺族代表の周江法さんならびに王希天事件のご遺族の王旗さんをお招きして、韓国 YMCA で「虐殺された中国人労働者を追悼する集い」を開催した。

会場前面には左右に華蓋山の追悼碑の原寸垂幕が下げられ、中央には関谷興仁さん制作の陶板「悼」と「被害者名簿」が並べられた。その横には、中国大使館、王希天遺族、旅日蒙難華工遺族、東京華僑総会、温州同郷会、新華僑華人会、日中協会などの供花が並んだ。

黙祷のあと、王旗さん、温州被害者遺族を代表しての周江法さんのご挨拶を受け、社団法人日中協会理事長白西紳一郎さんから追悼の辞をいただいた。その後、浜崎眞美神父のご挨拶、山内小夜子さん菱木政晴さんによる三帰依文と表白、李政美さんの歌（矢野敏広さんギター）とともに献花をし、リレートークに入った。田原洋さんによる「“王希天事件”の発見」、中国社会科学院研究院　陳鉄健さんによる「高潔至善の人――王希天」、　凌星光さんの「関東大震災に遭遇した父」、鳥井一平さんからは「外国人研修生問題」について、西崎雅夫さんからは「荒川河川敷の「悼」碑――朝鮮人虐殺事件の現場から」、そして最後に林伯耀さんから、「関東大震災下中国人虐殺に対する日本政府の国家としての責任を問う」という提起を受けた。

前日の 9 月 7 日には、被害現地参観をし、現場で追悼。

↑集い前面中央の「悼」と被害者名の陶板は関谷興仁さん（右）の作品

左右の垂幕は、中国華蓋山の追悼碑

王旗さんは王希天が虐殺され投げこまれた中川に献花

↑周江法さんは集団虐殺された大島八丁目広場跡の土をすくった